

《伝道にも用いられている本！》



天国に行った人々・ 地獄に行った人々

本書には、合計 34 人の死のまぎわでの実際の記録が収められています。人間が死ぬ時、その人が真のクリスチャンの場合と、それ以外の人の場合で、そのようすも行き先も全く異なることがわかります。読者が、地獄における永遠の滅びではなく天国における永遠の命と幸いを選択する強い迫りを受ける本です。

- 第一部の奇数番号…天国に行った人々の実録。
 - 第一部の偶数番号 / 第二部・三部…地獄に行った人々の実録。
- 伝道用としても用いられている本です。

第一部 天国に行った人々・地獄に行った人々

- [1] (奇数…天国に行った人々) 神の聖徒の勝利の死
- [2] (偶数…地獄に行った人々) 不信心息子の恐るべき死
- [3] 聖なる都・キリストと大ぜいの聖徒たちの幻
- [4] 「このベッドの上の私のそばに悪魔がいるのが見える」
- [5] 「パパ、なんて美しい光景かしら！金の門が開いてるわ」
- [6] 墮落した人の恐ろしい結末
- [7] 死ぬ間際の証言と幻
- [8] 「あいつらを離してくれ！ あいつらを離してくれ！」
- [9] 「門のところにマギーがいる！」
- [10] 「あの悪魔たちだわ、彼らが来るわ、ああ、助けて！彼らが私を引きずり下ろすの！滅びる！滅びる！」
- [11] 天国に旅立った身体障害の青年
- [12] 「私は炎の中だ！私を出してくれ！私を出してくれ！」
- [13] 天国に旅立った6歳のウィリー
- [14] 見出せる間に主を求めないことの大きい危険
- [15] 「彼女はここにいる！二人の天使も彼女と一緒に！」
- [16] 不信心者の最後のことば…「地獄と滅びだ！」
- [17] 「我が天国！天国！グローリー！」
- [18] 遅れた結果としての永遠の死
- [19] 数日の猶予が与えられた不信心者の命
- [20] 「私の部屋に悪霊どもがいて、私の魂を地獄に引きずり下ろそうとしているんです！」
- [21] 「あの幼い子どもたちを見て！ああ、ママ、私は行かないといけないわ！」
- [22] 「ああ、もう手遅れだ、私には全く望みがない！」

- [23] 「天が開かれていて、無数の輝く天使たちが私たちを迎えようとしているのが見えます！」
- [24] 「我が神、我が神、私の運命は決まってしまった！私は滅んでしまった、滅んでしまった！」
- [25] 「彼らが、『地上には平和が…』と言っているのが聞こえないかしら？」
- [26] 「ああ！悪魔が私のたましいを地獄に引きずり落とそうと、やって来るわ！」
- [27] 「ハレルヤ、彼が来られたわ。私は友人のみんなにお別れのことばを言うことにするわ」
- [28] 「俺はもうすぐ死人になる、そして俺のたましいは地獄にいることになる」
- [29] 「まあ、部屋中に天使たちが見えるわ。あなたたちには彼らが見えないかしら？」
- [30] 「この地獄はもう十分だ！悪魔どもが俺を引きずり降ろそうとしている！」
- [31] 「私は今、天使たちを見ている！彼らは家を通り抜けて飛んでいる！」
- [32] ある若者への恐ろしい裁き

第二部 地獄に連れて行かれたスウェーデン人の老人
メリー・アクセルソン (スウェーデン)

第三部 地獄に引かれて行った中国人の少年
ハロルド・A・ペイカー (アメリカ)

第四部 天国に入れていただくためには？

第五部 「花畑」体験…悪魔による偽の臨死天国体験



地獄に行かず天国に行く方法

天国・地獄・死後・裁き・永遠の命等について、聖書の教える最も重要なポイントをはっきり理解できます！

- 第一課 神はどのようなお方か？
- 第二課 罪とは何か？
- 第三課 どうすれば天国に入れるのか？
- 第四課 地獄に行かず天国に行く人の生活

- 「天国や地獄は存在しないだろう」という誤解
- 「私は特に悪いことをしていないから、死んだ後はきっと天国に行けるだろう」という誤解
- 人間の命は神の御手の中にある！
- 神の御性質
- 最大の罪とは？
- どうすれば天国に入れるのか？
- 何からの救いか？
- 救いを受け取る方法・保つ方法
- 死んでいる信仰とは？
- 愛することが、なぜ重要なのか？
- 地獄に行かず天国に行く人の生活とは？
- 四つの大切なこと